

バケツリレーの方法

★バケツリレーの並び方★

それぞれ一長一短があります。訓練参加者の状態（人数や習熟度）により、どの並び方にするのかを選んでください。

① 一列リレー

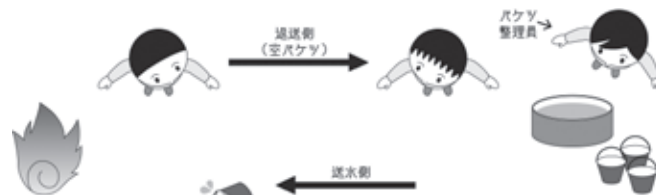
人数が少ない場合に適している方法です。

約1.5mの間隔で一列に並び、水源から火元までバケツをリレーします。

空バケツを運搬する人員は、送水側人員の1/5程度とします。

欠点は背中側が見えないことです。

必要に応じ、安全管理担当者を配置しましょう（たとえば、列が道路を横断する場合など）。

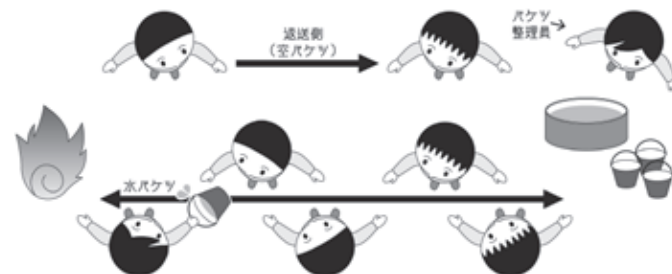


② 千鳥リレー

一列リレーの応用例です。

一列リレーを一人ずつ交互向かい合わせになることで、お互いに相手の背中側の安全確認を行うことができる方法です。

欠点は、人が並び終わるのに少し時間がかかることです。

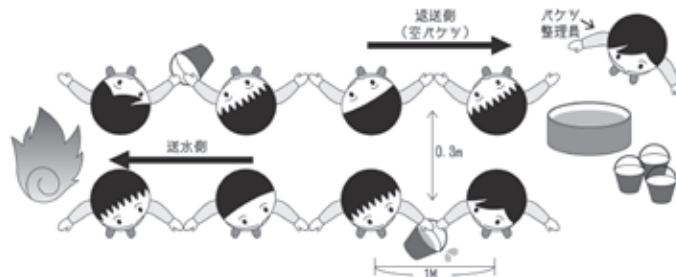


③ 二列リレー

人数が多い場合に行う方法です。

送水側、返送側の二列が背中合わせに並び、それぞれが安全確認をしながらバケツをリレーする方法です（向かい合わせに並ぶと、安全確認が背中越しになり困難になります）。

間隔は片手間隔（約1m）とします。ただし人数が少なめの場合、送水側を約1m間隔で配置し、残った人数で返送側（空バケツ）を担当します。



(注) 間隔は目安です。体格などに合わせて調整してください(子どもではもっと狭くなる)。

(注) バケツの水は、入れすぎない(5～6分目くらいまで)ようにしてください。